

コミュニティソーシャルワーカー

CSW 通信

2025年
10月号豊島区民協キャラクター
ふくじい

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)とは...

福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら、地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して、解決に向けたお手伝いをしています。CSWは、8か所の区民ひろばに常駐しています ※豊島区より受託

ギャラリア赤い鳥
Galleria "L'Uccello Rosso"
DAL 1918

ギャラリア赤い鳥

～この地の歴史を心にきざみ～



目白三丁目にあるギャラリー「ギャラリア赤い鳥」。

美術・工芸品の個展や、音楽会や朗読会など開催されているイベントスペースです。

この場所は、童話・童謡雑誌「赤い鳥」(赤い鳥社)の発祥の地で、

いくみ 創刊した鈴木三重吉の居宅跡でもあります。

オーナーの井汲ご夫妻に、ギャラリーを始められたきっかけなどお話を伺いました。

井汲ご夫妻。ご主人の典夫さんは
画家でもいらっしゃいます。

Q. ギャラリーを始められたきっかけは？

元々は千葉県習志野市に住んでいましたが、東日本大震災で自宅が半壊。移転先を探していたところ、紹介された先がたまたま鈴木三重吉の居宅跡でした。私たちが移り住む前は、地主さんが画廊をやられていて、アーティストの方や地域の方に気軽に使っていただける場所にしたいと思い、私たちもギャラリーを始めました。

Q. 目白はどのような街ですか？

目白は静かで、由緒ある街ですね。

「ギャラリア赤い鳥」オープン後、たまたま入った画廊で三重吉氏の親族にお会いしたり、訪問先で三重吉氏の法要に参加することになったりと偶然が重なることがありました。ご縁をとっても感じていて、自分たちはこの地に「来た」のではなく、「たどり着いたんだ」と思っています。

Q. 「めじろdeよりみち」への想い

主人が病気をしたときに高齢者総合相談センターにお世話になり、その恩返しから、相談会に場所を使ってもらうことになりました。地域の方が自分らしく生活できるように、少しでもお手伝いできればと思っています。

目白にちなんだ鳥の
「メジロ」を赤い色にした
「赤い鳥」。オーナーの典夫
さんのデザインです。

画廊キャラクター

毎月1回、「ギャラリア赤い鳥」の場所をお借りして、CSWと高齢者総合相談センター見守り支援事業と共催で、出張相談会「めじろdeよりみち」を開催しています。詳細はCSWまで。

「ギャラリア」は、イタリア語でギャラリーという意味。地主さん(イタリア文学者の千種堅氏)への敬意と、この場所と鈴木三重吉との深いつながりを大切にしたいという思いから、画廊を「ギャラリア赤い鳥」と名付けたそうです。街の歴史や文化をつないでいくご夫妻の想いが込められています。

暮らしのなんでも相談会

場所	開催日	時間	プログラム
レンタルスペースラルゴ (西池袋4-9-12 1階)	10月14日(火)	14:00~15:00	ラルゴdeよりみち
ギャラリー赤い鳥 (目白3-18-7)	10月15日(水)	14:30~15:30	めじろdeよりみち
区民ひろば西池袋 (西池袋2-37-4 IKE・Biz2階)	10月17日(金)	15:00~16:00	
近江屋酒店 (西池袋3-36-22 ル ジェンテ 立教立教通り 1F)	10月29日(水)	11:00~12:00	よりみちカフェ

○日時と場所をご確認ください。
 ○CSWがお話を伺い、関係機関や地域情報などをご紹介します。お気軽にお越しください。
 ○上記日程でご都合がつかない場合でも、相談は受け付けております。
 ○電話相談や訪問も行っておりますので、ご連絡ください。

池袋西地区民生委員児童委員協議会 フューチャー班

地域の活動紹介



池袋西地区民生委員児童委員のフューチャー班は、月1回、池袋幼稚園で朝の挨拶をしています。



上手に挨拶出来ました！

広い園庭に、子どもの元気な声が響きました！



「おはようございます！」

「フューチャー班」の名前の由来は…
 担当地域にある「みらい館大明」の「みらい」から、
 「フューチャー班」と名付けたとのこと。
 「未来への想い」も込められているそうです。

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
 CSW 豊島区医師会圏域担当 山下・白岩
 (区民ひろば西池袋内)

開所時間 月～金 9:00～17:00(祝日・年末年始除く)

TEL:03-6866-2950

メールアドレス: csw_nishiike@t.toshima.ne.jp

メールアドレス
読み取りコード



豊島区民社協
SNSやってます！

